

根羽村教育委員会 令和6年11月定例会会議録

- 会議日時 令和6年11月13日（水）午後3時30分
- 会議場所 根羽村役場 第1・第2会議室
- 出席者 教育長：柳瀬賢司、教育長職務代理者：石原久明、委員：片桐光代、小澤寛樹、石原八重子、事務局：石森智（総務学校教育係長）
(欠席者なし)

1. 開会

2. 議事事項 なし

3. 協議事項

(1) 海外研修について

(教育長) 海外研修について、2回目の保護者説明会を行う。内容の審議をお願いしたい。期日12月10日。12名の生徒から海外研修の参加申込があった。引率者は教委2名、学校3名と考えている。パスポート取得について、1月に取得するため、12月中に申請が必要。自己負担金一人5万円。海外研修の総額は増加した。為替レートの変動、燃料費の高騰が旅行費用の主な値上がりの要因。事前学習は小正さんが進める。報告会4月3日開催（やまあいホール）。以上を保護者説明会で説明する予定。

(委員) 事前学習の日程が分かったら教えてほしい。私も見学したい。

(教育長) 小正さんが塾の時間を利用して実施していく予定。

(委員) 自己負担分の振込手数料はどうするのか。

(教育長) 個人負担になるので説明会で話をする。料金について、説明会までに確認する。

(2) 親子留学について

(教育長) 親子留学申請書が役場に届いた。留学希望者は別紙のとおり（資料に沿って説明）。

(3) ウェルビーイング実践校（TOCO-TON）について

(教育長) （資料に沿って説明）TOCO-TONは県教委で今年度から始めたもので、希望する学校が申請をして、選考を通過した学校が利用できる制度。一番の目玉は、県教委から教員を加配していただき伴走支援してもらえなことかと思っている。1名の教員を3年間配置していただける。7年度は準備期間で、8、9年度が実施期間。全県で10校程度が採用される。12月に選考結果が出る予定。下伊那からは平谷村と売木村が提出している様子。狭き門と思われる。申請は元々は村長の発案。本村の提案書の内容：①義務教育学校の良さを活かした学校。9年間のカリキュラム編成を実施、自分にあったカリキュラムを作成→ある程度子供たちが自己決定できる仕組みを作っていく、公営塾と子ども教室との連携。根羽ならではの総合学習を実施。②探求学習：探求クラスを創設。地域の方にも来てもらう。子供たちに学びの楽しさを実感してもらう、自信を付けてもらう。③学びの場の確保。多様性の時代にあった、その子にあった、環境作り、カリキュラム作り。中間教室、フリースクールまで検討するかどうかは未定、④他者との関わり。例えばボランティア教室を設けて、そこで交流してもらう等。以上について、教員加配をお願いしたいという内容になっている。教育の取り組みの一つとして申請させて頂いた。

(委員) 仮にこの申請が通らなくてもこういう取組みは必要であると思う。

(教育長) おっしゃるとおり。スタッフは揃っていると思うので、外部の人と元々の地元の方も一緒に考えていくと良いものになっていくのではないかと。教育委員にも、こういうことが課題だといった意見をいただければと思う。

(委員) ウェルビーイングは国が推奨しているのか。

(教育長) 国も県も推奨している。

(委員) 現場が大変になることが予想される。校長は申請内容に賛成しているか。

(教育長) 申請の内容で学校も実施していく方針。学校の中で中間教室を作ることについては慎重に考えている。多様な学びの場作りを考えていて、いずれは一斉授業から変わっていくことになることが予想される。個人個人が自由に学んで、学んだことを最後にみんなで発表するという形態にいずれなるのではないかと。 「今日は何を勉強したの」となる可能性があるのですが、自分はこれを学んだという発表の場と発表を聞いて感想を言うといったことをやることで学んだことに繋がるのではないかと、学んだ実感を感じることが出来るのではないかと。飯田市の上村が自由進度学習が進んでいる様子。

(委員) でも、高校受験がありますよね。

(教育長) そうは言っても保護者の願いもある。入試もいずれは変わっていくと思われる。記述式が増えて、自己表現をする問題になってくるようにもなってくるのではとされている。変えてみて、もっと大事なことがあるよとなれば、紙と鉛筆の時代に戻るかもしれない。

(委員) 色々試すのもいいけど、子供たちには時間がない。現場も大変。全てが中途半端にならなければいいが。根羽学園も色々なことをやっているのだから、色々やるのはいいけど、現場は大変になってしまうのではないかと。

(教育長) 実際に先生の中でもやる事が多くなって悩んでしまう先生もいる。自然の中の総合学習を中心にやっている学校で、中学校に上がっても漢字が分からないという子どもも実際いるようである。

(委員) 村内の人を給食に呼ぶとか、できることからやっていくのも良いと思う。

(教育長) 校長は月1回の読み聞かせを再開したい様子。

(委員) 昔は村の人を呼んで収穫祭をやっていた。そういったことがまたできるとよいと思う。

4. 報告連絡事項

(1) 飯伊市町村連絡協議会秋季研修会について

(教育長) 教育委員も参加した秋季研修会については、別紙資料のとおり(資料の内容を説明)。

(委員) 野沢温泉村は、保小中の連携がしっかりできている様子。ただ、学力の向上が課題。学力をどうやって評価するか。教育委員会の中の関わり、役割分担が整理されるといいと思う。

(教育長) 村営塾についても、休んでしまっている子どももいるようだ。塾については、村が補助を出しているのだから、休んでしまっていることはどうなのかと言う意見も出ている。塾よりも他のことをやりたい子どももいるが、やりたいことを塾のプロジェクト学習で取り上げれば良いのではないかと。

(委員) 学校でみんなで勉強をして放課後にまた、塾に集まってみんなで勉強するというのは少し異常かなと思った。

(教育長) 保護者の中では、塾で宿題をやってきて欲しいのと、でも家で勉強を全くやらないのはどうかと考えている保護者もいる様子。

(委員) 公営塾の目的は何ですか。

(教育長) いわゆる「21世紀型の学力」を身に付けることが目的ということは4月の保護者説明会で話があったようである。最近では模試を受けることもやっている。

(委員) 月謝はいくらなのか。

(教育長) 1か月800円で、保険料等の費用に充てている。3か月分をまとめて払ってもらっている。

(委員) 800円では行かなくなってしまうのも無理はないかもしれない。

(教育長) 親の考えもあるので、仕方がないところもあると思う。

(委員) 公営塾は来させなきゃいけないという考えはあるのか。

(教育長) 今は色々な選択肢がある時代だと思っている。

(委員) 保護者説明会に私も参加してみたい。

(教育長) 次回から教育委員もお声掛けします。

(委員) 学力をどうするかは大事だと思う。

(委員) 学習塾みたいに厳しくしても良いのでは。

(教育長) そうすると来なくなってしまう子どももいるのではないか。そこが難しいところ。模試をやって、自分の可能性に気づいてもらったり、やる気を出してもらっている。また、プロジェクト学習を組み入れたりしている。悩ましいところ。アンケートをとってどうしていくか考えたらどうかという提案を「ねばのもり」にした。学力重視にすると学力偏重ではないかという意見が出てくるかもしれないという危惧もある。

(委員) 公営塾という限り、全ての子どもを公平に見ていかなければということもある。

(教育長) そういう観点から、両方の考えを取り入れられるということで、最初のファウンディングベースはスタートしたのだと思われる。

(2) 根羽学園の様子について

(教育長) (資料に沿って説明)。

(3) 保育園の様子について

(教育長) (資料に沿って説明) 根羽村出身の実習生が根羽に戻ってきたいという喜ばしい話がありました。

(4) その他について

(教育長) こちらからは以上ですが、その他ご意見等ありますでしょうか。

⇒ (全員意見なし)

(5) 12月定例教育委員会開催日 12月18日(水) 午後3時30分

5. 閉会

午後5時5分閉会

教育長・教育委員 署名